

淀の大放水路 工事現場レポート!!!

①巨大な縦穴出現!!

十八条下水処理場の敷地内に開いた大きな縦穴(立坑)。小さく写る岡田からその巨大さがわかりますよね。



②ビルの13階に相当する深さ!!

立坑の直径は約13m。深さは13階建てのビルの高さにも相当する約41m。設置された階段で昇り降ります。これが大変。



③シールドマシン投入!!

ここから下水道を掘るためのシールドマシンを地下に下ろします。その周りに土圧や水圧によって立坑が崩れないように頑丈な鉄枠が張り巡らされています。



④シールド工事は地下水とのたたかい!!

見学時は、シールドマシンで横穴を掘り進める時に地盤が崩れないように、薬剤を流し込んで固める作業をしていました。



現在、淀の大放水路のうち、淀川区の十八条から東淀川区の菅原を結ぶ区間の事業が始まっています。地下を駆け巡る下水道はいったいどのようにして作られるのか、工事現場を見学してきました!

⑤これがシールドマシン

今後、シールドマシンと呼ばれる筒状の機械で土の中を掘り進めます。前方の土砂を削りとりながら、掘った部分が崩れてこないようにセグメント(トンネルの外壁となるブロック)を組み立てることで下水道が出来上がります。(写真は別の工事で使用したシールドマシン)



淀の大放水路 十八条～西島幹線

十三から西淀川区の姫島までを結んだ下水道はすでに供用されています。十三公園の地下にも上記で紹介した十八条の立坑とほぼ同じ大きさの立坑があり、大雨が降ったときなどに、雨水を一時的にためています。



問合せ 政策企画課(広報担当) 5階51番 ☎6308-9404

区政会議通信 vol.2

～6月14日 平成28年度第1回区政会議レポート～

議題 平成27年度淀川区運営方針自己評価 平成28年度淀川区運営方針の改定

平成27年度区運営方針の振り返り結果と、それを踏まえた平成28年度区運営方針の改定について説明を行いました。「コミュニティ回収は順調に進んでいるのか」「地域福祉活動等に関する情報をどう周知していくのか」「小学校補習充実事業を多くの学校へ展開を」といったご質問・ご意見を多数いただきました。



区政会議とは 区の施策等について、立案段階から区民の意見を把握し、適宜反映するとともに、実績・成果について意見を聴くことを目的とする会議です。

議題 淀川区の防災の取組

熊本地震の発災直後に現地で、支援活動を行った職員からの報告と、3月に改定した淀川区地域防災計画の解説を行いました。「普段からのコミュニティの繋がりが



災害時には重要になってくる」「広報誌等を通じて、広く区民と防災情報を共有する必要がある」といったご意見をいただきました。

今後の予定や、これまでの資料などは☎をチェック

淀川区 区政会議

検索

編集後記

今月は淀の大放水路の工事現場取材しました。ヘルメットと軍手を装着し、立坑の底をめざしてひたすら階段を降りる…。途中で心が折れそうになりましたが、底から地上を見上げた景色に圧倒されました。とにかく大きくて深い!今後始まるシールド工事の様子もまたお届けできたらと思います。お楽しみに♪
(広報担当:岡田)



▲階段の昇り降りですり足筋痛になりました(笑)

広報誌の配布方法

区広報誌「よどマガ!」は、毎月1日から4日までの間に全戸配布でお届けしています。配布漏れ等のお問合せは、株式会社ラパンプラス(☎4256-8915)まで。点字版や音訳版もあります。詳しくは、政策企画課(☎6308-9404)まで。ホームページでもご覧いただけます。

よどマガ

検索